

人口

〔毛吹草〕大隅

多タチ禰島筒シマ ヤクノ島シマ樽板シマ

〔官中秘策〕大隅國 八郡〇中略

一人數拾三万六千六百貳拾三人

內 七万四千五百貳拾貳人 男 五万七千五百(五百下恐脱)七拾壹人 女

〔吹塵錄〕五諸國文化元甲子年人口及國高〇中略諸國人數調〇中略

一人數拾壹万四千六百六拾六人

高拾七万八百三拾三石餘 大隅國

皆私領 內 六万七千七百貳拾壹人 男 〇中略

弘化三丙午年 諸國人數調〇中略

皆私領 一人數九万九千貳百拾貳人

高拾七万八百三拾三石餘 大隅國

內 五万六千四百拾貳人 男 四万三千四百拾貳人 女

〔人國記〕大隅薩摩國

風俗

大隅薩摩兩國之風俗違フ事ナシ、是モ皆死ヲ以テ表トシ、唯男子ハ死スルヲ道トスト覺テ、五常之道ト云フ事、一段外之事ト覺ヘ、佛法トイヘバ、死テ後之穿鑿ニ而生死ヲ可知爲トナレバ、用ルニ不足ト自見而遠リ、常ニ主下之作法モ有テナク、主ト云名ヲ知テ祿ヲ受ル士ハ主トノミ覺ヘ、百姓ハ地頭トノミ覺テ、不禮之行跡舉而不足言也、武士之戰場ニ死スルモ、忠義ニ因テ死スル處ノ節ヲ以テ善トスル工夫ナク、唯武士ハ於戰場ニ死ヲ致ス者トノミ覺ヘテ、死スルハ可論様ナシ、蓋シ泰平之時ハ、主安坐而席ヲ正フ而アルニ、臣ハ足ヲ伸シ、或ハ立チナガラ主君ト問答スルノ類多シ、末代以テ是風俗ナルベシ、

〔西遊雜記〕日向大隅の二州にて、一家に女馬三疋五疋も飼て、駒をあまた出す國にて、九州すべて兩國の駒を用る事也、兩國にては、年毎に三千疋も産せると土人の物語き、即詳ならず、扱馬を